



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東
コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員CEO （氏名）岩田 進
問合せ先責任者 （役職名）執行役員CAO （氏名）栢木 秀樹 TEL 06(4795)7500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	4,486	23.4	406	151.4	395	139.8	287	168.1
2025年9月期第3四半期	3,636	33.2	161	19.9	165	22.6	107	81.1

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 312百万円（317.0％） 2025年9月期第3四半期 74百万円（16.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	45.99	—
2025年9月期第3四半期	17.33	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	5,717	1,917	32.7
2025年9月期	3,205	1,684	51.8

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 1,867百万円 2025年9月期 1,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	7.90	7.90
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年9月期期末配当（予想）の内訳 普通配当 7円00銭 スタンダード市場上場記念配当 1円00銭

3. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,950	20.6	380	36.3	360	28.7	270	—	43.12

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 業績予想の修正については、本日（2026年8月5日）公表しました「2026年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) シルバーエッグ・テクノロジー株式会社、除外 1社 (社名) KIMEI GLOBAL Co., Ltd

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	6,372,415株	2025年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	63,647株	2025年9月期	172,835株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	6,245,148株	2025年9月期3Q	6,183,013株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要の継続的な拡大等に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、高止まりする物価や人件費等のコスト上昇に加え、為替・金融資本市場の変動、米国の政策動向、さらには中東・ウクライナ情勢の長期化をはじめとする地政学リスクの高まり等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場については、社会のデジタル化を背景に2025年のインターネット広告費は前年比110.8%の4兆459億円（㈱電通「2025年日本の広告費」）と継続的に高い成長率を維持しており、総広告費に占める割合も50.2%まで拡大しております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場については、2024年国内BtoC-EC市場規模は前年比105.1%の26.1兆円となりました。分野別では、物販系分野に関して前年比103.7%と伸長しており、物販系分野におけるEC化率についてもBtoC-ECで9.8%（前年比0.4ポイント増）と伸長しております。BtoB-EC市場におけるEC化も43.1%（同3.1ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和6年度電子商取引に関する市場調査報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、主にコマースAI事業における2026年1月14日に連結子会社化したシルバーエッグ・テクノロジー（株）の収益貢献や㈱イーシーキューブのEC構築事業、ルビー・グループ（株）の増収等により増収増益となり、売上高4,486,913千円（前年同期比23.4%増）、営業利益406,184千円（同151.4%増）、経常利益395,863千円（同139.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益287,207千円（同168.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「マーケティングDX支援事業」から「マーケティングAI事業」、「コマース支援事業」から「コマースAI事業」へそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

（マーケティングAI事業）

当事業は、「マーケティング施策の効果改善サイクルを回したい」という顧客課題の解決を支援すべく、インターネットにおける消費者行動を横断的に測定し、マーケティングに活用するためのクラウドサービス及び広告運用のインハウス支援等を提供する事業であります。広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を主力サービスとし、マーケティング・キャンペーン・マネジメント・プラットフォーム「アドエビスキャンペーンマネージャー」、分析レポート自動作成サービス「アドレポ」等のサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、「アドエビスキャンペーンマネージャー」において、2つのAIエージェント「課題発見エージェント」「施策立案エージェント」の提供を開始いたしました。また、マーケティング施策の成果データや広告クリエイティブ、ランディングページ（LP）等の情報から、AIが施策の「企画意図」を推定・学習し、組織の知見として蓄積する技術について、特許を取得しております。

今後は、広告運用のインハウス化を進める広告主をメインターゲットとし、企業パートナーと連携しながら改良と拡充を重ね、AIと人が協働することで、顧客の判断を仕組み化し、成果が上がり続ける組織づくりを支援してまいります。

主力サービスである「アドエビス」の売上高の伸長等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,257,545千円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は217,236千円（同3.0%増）となりました。

（コマースAI事業）

当事業は、EC事業者の多様な商習慣や事業形態に寄り添う業務適応型コマース基盤「EC-CUBE」を中心に、集客・運用・物流に至るまで一気通貫で顧客課題の解決を支援する事業であります。「EC-CUBE（オープンソース版）」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者から手数料収入を得るエコシステムを構築しております。

一方、EC構築においては、事業成長に伴う変化に柔軟に対応できる基盤として大規模ECサイトの構築を推進しております。「EC-CUBE Enterprise」として、高アクセスに耐えうるインフラ基盤・モジュール型EC・多言語対応等の機能をパッケージ化し、企業の独自業務に高度に適応するコストパフォーマンスに優れた高可用性システムとして大型案件の獲得に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間において、EC-CUBE Enterprise上で利用可能な領域特化パッケージとして「EC-CUBE Enterprise for X」をリユース、マーケットプレイス、製造業向け受発注DXの3領域にて展開を開始いたしました。

また、コマースAI事業では、ECサイトのオペレーションマネジメント事業としてフルフィルメントサービスの提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間の第2四半期より、AIを活用したレコメンド技術及びそれをベースとしたAIマーケティングサービス事業を展開しているシルバーエッグ・テクノロジー(株)を新たに連結対象に加えております。事業ノウハウやアセットを相互共有・活用し、顧客の課題解決を統合的に支援し、更なる提供価値の向上を目指してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,232,963千円（前年同期比54.1%増）、セグメント利益は188,948千円（前年同期は49,367千円のセグメント損失）となりました。シルバーエッグ・テクノロジー(株)の業績貢献及び(株)イーシーキューブのEC構築事業、ルビー・グループ(株)の増収等により増収となり、利益面では黒字転換を達成いたしました。なお、新規EC構築案件の受注につきましては、受注高は338,375千円（前年同期比22.3%減）となり、受注残高は228,665千円（前年同期末比29.8%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,344,745千円となり、前連結会計年度末に比べ1,942,978千円増加いたしました。これは主に連結子会社の取得等により、現金及び預金が1,407,062千円、受取手形及び売掛金が80,358千円それぞれ増加したことや、コマースAI事業のEC構築事業の開発案件の進捗に伴い契約資産が252,795千円増加したこと、前払費用が152,257千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は1,372,719千円となり、前連結会計年度末に比べ569,394千円増加いたしました。これは主に連結子会社の取得等により、のれんが539,675千円、繰延税金資産が12,850千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は5,717,465千円となり、前連結会計年度末に比べ2,512,373千円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,763,525千円となり、前連結会計年度末に比べ659,551千円増加いたしました。これは主にコマースAI事業のEC構築事業の開発案件における中間金の入金により契約負債が256,717千円増加したことや、銀行借入により短期借入金が150,000千円増加したこと、未払金が277,032千円増加したことによるものであります。

また、固定負債は2,036,477千円となり、前連結会計年度末に比べ1,620,162千円増加いたしました。これはシルバーエッグ・テクノロジー(株)の株式取得資金を銀行借入により調達したことによって長期借入金が1,627,902千円増加したことや、子会社事務所の賃貸借契約の終了により資産除去債務が7,740千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,800,002千円となり、前連結会計年度末に比べ2,279,713千円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,917,462千円となり、前連結会計年度末に比べ232,660千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益287,207千円及び剰余金の配当48,976千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は32.7%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期連結業績予想の修正について)

最近の業績動向を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、通期の連結業績予想を以下のとおりといたします。

	金額	対前期増減率	(参考) 前期連結実績
売上高	百万円 5,950	% 20.6	百万円 4,934
営業利益	380	36.3	278
経常利益	360	28.7	279
親会社株主に帰属する当期純利益	270	—	△142

通期連結業績予想については、2026年5月に修正予想を公表しましたが、直近の事業状況及び業績動向を踏まえ、再度修正することといたしました。

売上高については、マーケティングAI事業において第4四半期から連結開始予定のアタラ㈱の売上を暫定値で加算するものの、既存事業の進捗に一部遅れが発生していることや、インキュベーション領域における事業整理に伴い減少を見込んでいるため、前回予想からの変更はありません。

利益面については、コマースAI事業において、㈱イーシーキューブのEC構築の既存案件が第3四半期で想定外に伸長したことや、ルビー・グループ㈱のコスト削減が寄与し、セグメント利益が前回予想を90百万円上回る見込みとなっております。一方で、マーケティングAI事業においては、既存事業の売上減による利益の減少や、アタラ㈱のM&Aによる初年度のマイナス影響（M&A費用の発生等）により、セグメント利益が前回予想を30百万円下回る見通しとなることから、連結全体としてはコマースAI事業の上振れが牽引し、営業利益は前回予想から60百万円上回る見込みとなっております。

また、営業利益の上方修正に伴い、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、それぞれ上方修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,558,322	2,965,384
受取手形及び売掛金	604,817	685,176
契約資産	115,680	368,476
仕掛品	3,153	50,460
前払費用	104,253	256,510
未収入金	9,110	9,603
その他	8,889	12,728
貸倒引当金	△2,461	△3,595
流動資産合計	2,401,766	4,344,745
固定資産		
有形固定資産		
建物	102,881	112,095
減価償却累計額	△70,681	△71,907
建物（純額）	32,199	40,188
工具、器具及び備品	260,389	296,544
減価償却累計額	△222,966	△252,712
工具、器具及び備品（純額）	37,422	43,832
有形固定資産合計	69,622	84,020
無形固定資産		
のれん	57,869	597,544
ソフトウェア	342,960	338,767
ソフトウェア仮勘定	44,319	35,416
その他	11,788	10,630
無形固定資産合計	456,937	982,358
投資その他の資産		
投資有価証券	54,677	57,827
長期前払費用	55,476	59,960
繰延税金資産	44,994	57,844
差入保証金	120,973	130,107
その他	2,716	2,810
貸倒引当金	△2,072	△2,210
投資その他の資産合計	276,765	306,339
固定資産合計	803,324	1,372,719
資産合計	3,205,091	5,717,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	137,914	145,504
短期借入金	250,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	75,377	73,638
未払金	315,018	592,051
未払法人税等	88,548	46,154
預り金	59,706	82,381
契約負債	112,143	368,861
賞与引当金	55,330	54,767
株主優待引当金	9,760	—
その他	175	165
流動負債合計	1,103,974	1,763,525
固定負債		
長期借入金	354,036	1,981,938
資産除去債務	62,279	54,539
固定負債合計	416,315	2,036,477
負債合計	1,520,289	3,800,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	354,387	262,746
利益剰余金	1,105,859	1,308,777
自己株式	△130,275	△47,507
株主資本合計	1,648,038	1,842,082
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,952	25,351
その他の包括利益累計額合計	10,952	25,351
非支配株主持分	25,811	50,028
純資産合計	1,684,802	1,917,462
負債純資産合計	3,205,091	5,717,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,636,314	4,486,913
売上原価	1,761,969	2,062,357
売上総利益	1,874,344	2,424,555
販売費及び一般管理費	1,712,794	2,018,371
営業利益	161,549	406,184
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,268	6,565
持分法による投資利益	2,198	1,045
還付消費税等	13,276	78
その他	5,826	4,475
営業外収益合計	25,570	12,164
営業外費用		
支払利息	5,611	15,693
為替差損	3	5,504
上場関連費用	4,110	—
投資有価証券評価損	4,934	—
固定資産除却損	6,998	0
その他	371	1,288
営業外費用合計	22,028	22,485
経常利益	165,091	395,863
特別利益		
新株予約権戻入益	—	16,374
特別利益合計	—	16,374
特別損失		
減損損失	2,649	14,920
特別損失合計	2,649	14,920
税金等調整前四半期純利益	162,442	397,317
法人税、住民税及び事業税	70,350	94,673
法人税等調整額	13,378	4,414
法人税等合計	83,729	99,088
四半期純利益	78,712	298,229
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,413	11,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	107,126	287,207

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	78,712	298,229
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,721	14,463
その他の包括利益合計	△3,721	14,463
四半期包括利益	74,991	312,692
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,259	301,432
非支配株主に係る四半期包括利益	△28,267	11,260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 子会社株式の追加取得

当社は、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるシルバーエッグ・テクノロジー(株)の株式を複数回にわたり追加取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が91,641千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が262,746千円となっております。

(2) 自己株式の処分

当社は、当第3四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式報酬として複数回にわたり自己株式を処分いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が19,294千円減少し、自己株式が82,767千円減少しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	142,744千円	137,425千円
のれんの償却額	82,825千円	57,934千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング AI事業	コマースAI事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,188,072	1,448,241	3,636,314	—	3,636,314
その他の利益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,188,072	1,448,241	3,636,314	—	3,636,314
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,143	1,233	5,376	△5,376	—
計	2,192,215	1,449,474	3,641,690	△5,376	3,636,314
セグメント利益又は損失（△）	210,916	△49,367	161,549	—	161,549

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「コマースAI事業」において、(株)イーシーキューブの東京本社移転が決定したことにより、当該事務所に係る資産について減損処理を行い、減損損失2,649千円を計上しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング AI事業	コマースAI事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,256,975	2,229,938	4,486,913	—	4,486,913
その他の利益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,256,975	2,229,938	4,486,913	—	4,486,913
セグメント間の内部売上高又は振替高	570	3,025	3,595	△3,595	—
計	2,257,545	2,232,963	4,490,508	△3,595	4,486,913
セグメント利益	217,236	188,948	406,184	—	406,184

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、シルバーエッグ・テクノロジー(株)の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、「コマースAI事業」セグメントにおいて1,665,775千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「マーケティングDX支援事業」から「マーケティングAI事業」、「コマース支援事業」から「コマースAI事業」へそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記の変更を踏まえて作成・記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「マーケティングAI事業」において、アドフープ、Target Push両事業の終了、アドエビスの一部機能の提供終了を決定したことにより、当該機能に係るソフトウェアについて減損処理を行い、減損損失14,920千円を計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

「コマースAI事業」において、シルバーエッグ・テクノロジー(株)の株式を取得したことに伴い、のれんが597,609千円増加しております。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。